

第5学年 外国語活動学習指導案

指 宿 市 立 丹 波 小 学 校

平成21年6月 4日(木)

男子17名 女子17名 計34名

指導者 島 奈穂

1 単元名 ジェスチャーをしよう

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、これまでに「世界のこんにちはを知ろう」の活動を通して、いろいろな国のあいさつにふれ、あいさつの大切さといろいろな国の言葉のおもしろさを感じ、外国語への興味を持ち始めてきている。また、初めて会った人への自己紹介や友達とのあいさつに必要な英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動を通して、英語を使って恥ずかしがらずに会話を楽しみたいという願いをもつようになってきている。また、友達とのコミュニケーションを図る中で、目的や相手、その場の状況に合わせて、自分なりに伝えたいことを表現しようとするこの大切さに気付くようになってきている。

しかし、異文化のコミュニケーションにおいては、言葉だけではなく、表情やジェスチャーを効果的に活用して自分の思いを的確かつ積極的に相手に伝えることが大切である。子どもによっては日本人があまり使わないジェスチャーでの表現が苦手な子も多い。そこで、このような言葉によらないコミュニケーションの大切さを体験的に学習するため、本単元では、表情やジェスチャーを使ったコミュニケーションが図れるような様々な活動をさせ、その大切さに気付かせることをねらいとしている。

これらの体験は、普段の日本語によるコミュニケーションの場面でも、ジェスチャーや表情といった言葉によらないコミュニケーションが大切であることを改めて考えさせるきっかけになるため、その大切さを繰り返し指導していきたい。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちは、外国語活動において、How are you? / I'm ~ .の言い方を繰り返し学んできている。また、ジェスチャーに関してもゲームなどで経験したことのあるものであり、「楽しそう」「やりたい」と活動への意欲が高まるものである。一方、普段、日本語での健康観察でも「元気です。」の言葉と表情や動作があっておらず、本当に元気なのか分からないことがある。そこで、ジェスチャーや表情での表現は自分の気持ちを伝えるために大切なコミュニケーションの一つであることをゲームなどの楽しい活動を通して気付かせ、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。

また、外国語活動が始まったばかりの子どもたちは、まだ使える英語の言語材料が少ない。そこで、どのような表情、ジェスチャーを使えば自分の気持ちを伝えることができるのか考えさせたり、言葉を使わずに相手に伝える場を設定したりして、自分が伝えたいことをなんとかして相手に伝える方法を考えながらコミュニケーションを図る学習活動へと展開していきたい。

(3) 子どもの実態 (対象者: 2組 児童32名)

- | | |
|---|---|
| 1 | 外国語活動は楽しいですか。
とても楽しい (29) 楽しい (3) あまり楽しくない (0) 楽しくない (0)
(理由)
・ 歌やゲームをしながら英語を覚えられるのが楽しい (9)
・ 歌やゲームをするのが楽しい (7) ・ 友達と楽しく活動ができるから (5)
・ 英語で話すのが好き (3) ・ 友達と話するのが楽しい (3)
・ 外国の言葉を知ることがうれしい (1) ・ みんなといっしょに楽しく活動できる (2)
・ おもしろい (1) |
| 2 | 外国語活動で進んで歌を歌ったり、活動をしたりしていますか。
進んでやっている (22) まあまあ (10) あまりやっていない (0) ぜんぜん (0) |
| 3 | 外国語活動の中で好きな活動はなんですか。(複数選択)
・ ゲーム (30) ・ 歌 (21) ・ クイズ (19) ・ 発表 (6)
・ ALTの先生との活動 (14) ・ 会話 (10) ・ カード集め (14) |
| 4 | 外国語活動のときに先生が話しているクラスルームイングリッシュが分かりますか。
分かる (6) だいたい分かる (18) 少しなら分かる (7) 分からない (11) |
| 5 | 外国語活動で分からないことがあったらどうしますか。
・ 日本語で尋ねる (13) ・ 先生に尋ねる (17) ・ ジェスチャー (10)
・ 絵を描く (4) ・ 辞書を使う (2) |

[考察]

本学級の子どもたちは、外国語活動に楽しく取り組んでいることが分かる。そして、ゲームや歌はもちろんのこと、ALTや先生、友達と話すことに喜びを感じ、自分の思いや考えを伝え合う活動に意欲をもっている子どもが多い。また、先生が話しているクラスルームイングリッシュがあまり分からなくても積極的に自分から活動に参加しようと意欲をもっていることが分かる。そこで、今回は子どもたちが楽しく活動できるジェスチャー伝言ゲームを取り入れ、みんなといっしょに同じジェスチャーをすることで子どもたちの恥ずかしさを取り除き、自分でどんな風にジェスチャーをしたらよいのか考えられない子どもたちでも前の人がやったジェスチャーを真似してジェスチャーでの表現を練習できるようにする。

一方、外国語活動に関して、「英語がしゃべれないから不安」「よく意味が分からないことに戸惑いを感じている」という子どももいると聞いた。そこで、説明後に確認を取りながら進めるようにし、分かっている場合は日本語を交え、子どもたちにも英語で言えないときには日本語で答えても良い雰囲気、間違っても良い学級の雰囲気、友達同士で教え合える関係作りを外国語活動以外の場でも常に心がけ、安心して英語に慣れ親しめるような場の設定をしていきたい。

また、子どもたちは英語を通じて友達と会話することに喜びを感じている。既習の英語表現を使える場を設定し、自分から進んで英語を使っている子どもを賞賛することで意欲をもたせたい。日本語以外の言葉でのコミュニケーションを行うことで「伝えようとする気持ち」・「何を伝えたいのか理解しようとする気持ち」の大切さに気付かせるようにする。

(4) 指導上の留意点

- ア 「導入」段階では、モデルスキットで活動場面を推測させ、リズムチャンツやゲーム活動等を通して、How are you? / I'm ~. の言い方に慣れさせる。
- イ 「展開」段階では、ゲームを通して表情やジェスチャーでの表現を使って、積極的にコミュニケーションを図らせ、活動の中に英語表現が取り入れられるようにする。
- ウ 「まとめ」段階では、ジェスチャーゲームを通して表情やジェスチャーでの表現の大切さに気付かせ、これから積極的にジェスチャーでの表現をしていこうとする意欲をもたせる。

3 目標

- (1) 表情やジェスチャーなどの言葉によらないコミュニケーションの大切さを知ろうとする。
- (2) 表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。
- (3) 感情や様子を尋ね合おうとする。
- (4) 外国や日本の文化の違いに興味をもつことができる。

4 本単元に関連のある言語材料

既習	How are you? I'm happy/ fine/ hungry/ sleepy/ tired/ cold /hot. Here you are. Thank you. You're welcome. Hello, my name is ~. Nice meet you.
未習	What's this ?

5 単元の指導計画（全4時間）

時間	目標および指導上の留意点
第1時 (HRT/ALT)	<p>目標：「感情を表す表現を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTとHRTがHow are you?/ I'm ~.と会話をしながらPicture cardを黒板に掲示していき、子どもたちに質問の意味と感情や様子を表す語の意味とを理解させるようにする。 ・ ALTとHRTが感情や様子を表すジェスチャークイズを出して答えさせる。英語で答えられない子どものために「日本語でも良いこと」「絵カードを指しても良いこと」を伝えておく。 ・ グループで感情や様子を表すジェスチャーゲームを行わせる。
第2時 (HRT/JLT)	<p>目標：「進んでジェスチャーをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に行った感情や様子を表すジェスチャークイズを出しHow are you?/ I'm ~.の言い方を想起させる。 ・ 感情や様子を表すジェスチャー伝言ゲームを行い、ジェスチャーでの表現の大切さを感じさせる。 ・ 動作を表すジェスチャークイズを行い、ジェスチャーでの表現を楽しませる。 ・ グループでジェスチャーゲームを行わせる。
第3時 (HRT) 本時	<p>目標：「ジェスチャーを付けて進んで話しかけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に行った感情や様子を表すジェスチャー伝言ゲームを行い、How are you?/ I'm ~.の言い方を想起させる。 ・ 前単元で行ったHello. My name is ~. Nice meet you.も使いながらたくさんの人にHow are you?とたずねてインタビューをさせる。 ・ いろいろなものを表現するジェスチャークイズを行い、ジェスチャーでの表現を楽しませる。 ・ グループでジェスチャーゲームを行わせる。
第4時 (HRT/ALT)	<p>目標：「ジェスチャーのおもしろさ・大切に気付こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に行った感情や様子をたずねるインタビューを行い、How are you?/ I'm ~.の言い方を想起させる。 ・ ALTと「こちらに来て」のジェスチャーを含んだスキットをやって見せ、日本と外国とのジェスチャーの違いに気付かせる。 ・ 1つのことを表すジェスチャーも様々であることを確認させる。 ・ ペアを変えながらいろいろなインタビューゲームをさせる。

6 本 時 (3 / 4)

(1) 目標

- ・ ジェスチャーを付けて積極的にコミュニケーションを図る態度を養う。
- ・ 相手に伝えるために進んでジェスチャーをしようとする態度を養う。

(2) 本時の展開にあたって

ジェスチャー伝言ゲームでジェスチャーと会話表現に慣れさせたあと、インタビューをしてたくさんの人に進んであいさつをしに行かせる。そして、グループでジェスチャーゲームに挑戦させ、コミュニケーションを広げたり、言葉によらないコミュニケーションの楽しさと大切さに気付かせたりしていく。

(3) 実際

過程	主な児童の活動	時間	学級担任 (HRT) 及びALT の活動	指導上の留意点 ◎評価の観点 ●指導の工夫
導入	1 あいさつをする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい雰囲気を始められるように明るく元気よくあいさつを交わす。 ・ 歌を歌いながら体を動かし、楽しい外国語活動の雰囲気をつくる。 ・ 列ごとに前から How are you? に対する答えをジェスチャーで表現し、次の人へ伝えていかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よくあいさつをさせて雰囲気を作る。 ● 様々な活動を入れながら歌を通して英語に楽しくふれられるようにする。 ◎ 進んでジェスチャーをしている。
	2 歌を歌う。 “Seven steps”			
3 ジェスチャー伝言ゲームをする。				
展開	4 本時の目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">ジェスチャーでいろんなものを表現してみよう。</div>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの発言から本時のめあてを引き出す。 ・ ジェスチャーで気分や様子以外も表現ができることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ジェスチャーでうまく伝言ゲームができたことを賞賛し、意欲をもたせる。 ◎ 進んであいさつをしに行く。 ● 自分から行けない子どもには声をかける。
	5 英語ノートを使ってインタビューをする。			
	6 ジェスチャークイズに答える。	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ デモンストレーションをしてクイズを出す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T: Here you are. S: Thank you. What's this? T: (Gesture) S: It's ~. T: Yes, that's right! Here you are. Good job! S: Thank you. Well done! T: You're welcome.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の表情や動きに注目させるようにする。 ● デモンストレーションをすることで、次のジェスチャーゲームにつなげる表現を確かめさせる。 ● ジェスチャークイズに答えることができた人にはカードをあげ、意欲をもたせる。 ・ 基本的な英語表現を使わせるようにする。
	7 グループでジェスチャーゲームを行う。			
まとめ	8 本時をふり返り、ふり返りカードを記入する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の授業はどうだったのか数人の児童に発表させ、賞賛する。 ・ 友達の良かったところを発表させ、認め合いの場面を作る。 ・ 英語であいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 楽しく活動できたか、友達の良さに気付いたか。 ・ 次時への意欲付けをする。 ・ 元気よくあいさつをさせる。
	9 終わりのあいさつをする。			

(4) 評価

- ア ジェスチャーを付けて積極的にコミュニケーションを図ることができたか。
- イ 相手に伝えるために進んでジェスチャーをすることができたか。